



岩手労働局発表
平成29年1月16日

【照会先】
岩手労働局労働基準部健康安全課
課長 小田 昭信
課長補佐 若月 敏幸
(電話) 019 - 604 - 3007

平成28年(12月まで)の労働災害発生状況を公表します。

～平成28年(12月まで)の死傷者数は、前年同期比15人(1.2%)減少～
～同死亡者数は、前年同期比1人(5.3%)減少～

岩手労働局(局長 久古谷^{くごたに} 敏行^{としゆき})は、平成28年12月までの県内の全業種における労働災害による死傷者数(休業4日以上)及び死亡者数の状況を取りまとめました。

平成28年12月までの死傷者数(12月末現在の速報値(注))は1,205人で、前年同期比で15人(1.2%)の減少となっています。また、死亡者数は18人となっており、前年同期比で1人(5.3%)の減少となっています。

(注)本速報値は平成29年3月末までに届出のあった労働者死傷病報告による確定値により更新されます。

(業種別等の発生状況は以下のとおりとなっています。)

1 死傷災害(休業4日以上) 【表1】(P.3) 【グラフ1】(P.6) 【グラフ2】(P.7)

(1) 全業種合計

全業種合計の死傷者数は1,205人で、前年同期比で15人(1.2%)減少となっています。

(2) 業種別の状況

前年同期比で増加した業種は、「商業」165人(前年同期比+30人、+22.2%)、「農林業」73人(同+17人、+30.4%)、「保健衛生業」96人(同+13人、+15.7%)などとなっています。

前年同期比で減少した業種は、「製造業」256人(同-30人、-10.5%)、「運輸交通業」123人(同-25人、-16.9%)、「畜産・水産業」39人(同-14人、-26.4%)などとなっています。

(3) 事故の型別の状況

全業種において、最も多い事故の型は「転倒」によるもので、280人(23.2%)となっています。次いで、「墜落・転落」で229人(19.0%)、「はさまれ、巻き込まれ」で140人(11.6%)の順となっています。

2 死亡災害 【表2】(P.4) 【表3】(P.5)

(1) 全業種合計

全業種合計の死亡者数は18人で、前年同期比で1人(5.3%)の減少となっています。

(2) 業種別の状況

業種別では、「建設業」で7人、「農林業」で4人、「製造業」で3人、「商業」で2人、「運輸業」で1人などとなっています。

【表1】

平成28年 1月～12月 労働災害発生状況（休業4日以上之死傷者数）

岩手労働局

業 種		岩手局				盛岡署	宮古署	釜石署	花巻署	一関署	大船渡署	二戸署	
		28年	27年	増減数	増減率								
製造業	食料品	22	30 (2)	-8	-26.7%		6	6	1		6	3	
	上記以外の食料品	76	98 (1)	-22	-22.4%	36	1	1	20	3	3	12	
	繊維・衣服その他繊維製品	13	8	5	62.5%	2			6	2		3	
	木材・木製品、家具・装備品	30	40	-10	-25.0%	6	9	1	3	1	4	6	
	パルプ・紙、印刷・製本	2	4	-2	-50.0%	1			1				
	化学工業	21	13	8	61.5%	4			7	5	2	3	
	窯業土石製品	15 (1)	13	2	15.4%	1	1	2	1	6	2	2	
	鉄鋼業、非鉄金属	9	5	4	80.0%	1	2	1	4	1			
	金属製品	31 (1)	23	8	34.8%	1	2	2	12	14			
	一般機械器具	7	12	-5	-41.7%	2		1	4				
	電気機械器具	7	15	-8	-53.3%	1	2		2	1	1		
	輸送用機械製造	12	5	7	140.0%	2		1	5	2	2		
	電気・ガス												
	その他の製造業	11	20	-9	-45.0%	5			2	2		2	
小計	256 (2)	286 (3)	-30	-10.5%	62	23	15	68	37	20	31		
鉱業	7	7		0.0%		2		2	1	1	1		
建設業	土木工事	77 (10)	85 (7)	-8	-9.4%	21	13	9	5	8	7	14	
	建築工事	鉄骨・鉄筋家屋	29 (2)	23 (3)	6	26.1%	4	2	7	7	2	1	6
		木造家屋	87	58 (2)	29	50.0%	20	7	8	17	9	13	13
		その他の建築工事	30 (5)	57 (2)	-27	-47.4%	11	1	3	12	1	1	1
	その他の建設	31 (2)	30 (1)	1	3.3%	16	1	2	2		5	5	
小計	254 (19)	253 (15)	1	0.4%	72	24	29	43	20	27	39		
運輸交通業	道路貨物運送業	114 (10)	133 (10)	-19	-14.3%	47	2	4	30	14	4	13	
	その他の運輸交通業	9	15 (1)	-6	-40.0%	6		1	1	1			
貨物取扱		2	-2	-100.0%									
農林業	農業	16	3	13	433.3%	4		1	8	1	1	1	
	林業	57	53	4	7.5%	17	7	2	2	10	3	16	
畜産水産業	畜産業	27	35	-8	-22.9%	13			7	4	1	2	
	水産業	12	18	-6	-33.3%		3	2			3	4	
商業	小売業	124 (14)	107 (12)	17	15.9%	53	8	7	30	16	6	4	
	その他の商業	41 (4)	28 (3)	13	46.4%	21	2	3	9	3	2	1	
通信業	14 (4)	24 (11)	-10	-41.7%	5		1		4	1	3		
保健衛生業	社会福祉施設	79 (4)	60 (3)	19	31.7%	24	6	7	23	11	3	5	
	その他の保健衛生業	17	23	-6	-26.1%	7	1	2	4	1	1	1	
接客娯楽業	旅館業	22	16 (1)	6	37.5%	9	3		6	3		1	
	飲食店	29	30	-1	-3.3%	13		4	5	4	3		
	その他の接客娯楽業	19	21	-2	-9.5%	11			4		1	3	
その他	ビルメンテナンス業	22	30	-8	-26.7%	13		1	5	2	1		
	その他（上記以外の業種）	86 (8)	76 (10)	10	13.2%	33	4	3	19	10	1	16	
合計	1,205 (65)	1,220 (69)	-15	-1.2%	410	85	82	266	142	79	141		
(注) 平成28年12月末の速報値である。					前年同期	432	82	76	291	122	94	123	
数字は死亡者数（内数）、（ ）数字は交通労働災害（内数）である。					増減数	-22	3	6	-25	20	-15	18	
					増減率	-5.1%	3.7%	7.9%	-8.6%	16.4%	-16.0%	14.6%	

番号	署別	業種	発生日	曜日	性別	年齢(経験期間)	事故の型	起因物	災害発生の概要
1	二戸	商業 (燃料小売業)	1月	日	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	破裂	トラック	ダンプトラックにタイヤを取り付ける作業中、タイヤのチューブが破裂、サイドリングが吹き飛び、被災者の頭部に激突した。
2	一関	製造業 (その他の製造業 -その他)	2月	水	男	30歳代 (1年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	コンベヤー	チップふるい機の始業前点検中、ベルトコンベヤーのテールローラー部に巻き込まれた。
3	大船渡	建設業 (木造家屋建築工事業)	2月	水	男	70歳代 (50年以上 60年未満)	墜落、 転落	作業床、 歩み板	資材を覆うブルーシートをロープで縛る作業をしていたところ、よろけて敷地端部の土止擁壁から足を踏み外し、約1.8m下の道路に墜落、アスファルト路面に頭を打った。搬送先の病院で2週間後に死亡した。
4	二戸	農林業 (木材伐出業)	3月	水	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	伐木等機械	民有林の皆伐作業現場で、原木(長さ約14m、末口直径約15cm)を移動させるため、グラブ機で原木を掴んで旋回させたところ、歩いていた被災者の頭部に原木の末口が激突した。
5	大船渡	建設業 (橋梁建設工事業)	3月	水	男	40歳代 (20年以上 30年未満)	その他	起因物なし	現場事務所で事務作業をしていたところ倒れ、搬送先の病院で死亡が確認された。長時間の時間外労働により、過重負荷が高かった。
6	釜石	製造業 (その他の 金属製品製造業)	3月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	作業中のドラグ・ショベルの脳で鉄柵を番線で結束する作業を行っていたところ、ドラグ・ショベルが旋回し、ドラグショベルの上部旋回体と鉄柵の間に挟まれた。
7	二戸	農林業 (農業)	4月	木	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	飛来、 落下	立木等	事業場の敷地内において、木の伐採作業中、地上4mの高さに切れ目を入れた状態で伐倒方向を選定していたところ、伐倒木(長さ16m、胸高直径29cm)が倒れてきて、被災者に激突した。
8	花巻	その他の事業 (その他)	5月	月	男	50歳代 (1年以上 10年未満)	交通事故 (道路)	乗用車、 バス、バイク	業務により車を運転中、被災者の運転する車が対向車線に進入し、対向車の大型トラックと正面衝突した。
9	二戸	建設業 (トンネル建設工事業)	5月	金	男	60歳代 (10年以上 20年未満)	はさまれ、 巻き込まれ	整地・運搬・ 積み込み用 機械	トンネル内において、被災者が発破後の切羽を点検した後、切り羽から坑口に向かって歩いていたところ、切り羽から坑口方向に後進してきたホイールローダに轢かれた。
10	釜石	農林業 (木材伐出業)	5月	金	男	60歳代 (30年以上 40年未満)	激突され	立木等	樹高20m、直径26cmの松の木をチェーンソーで伐倒したところ、伐倒した木が、既に倒れていた木の上で跳ね上がり、被災者の腹部に激突した。
11	花巻	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	6月	水	男	30歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	建築物、 構築物	工場の新築工事現場にて、建屋3階の天井クレーンを設置する作業中、高さ5.4mのH鋼上から床面まで墜落した。
12	盛岡	運輸交通業 (一般貨物自動車運送業)	6月	金	男	50歳代 (30年以上 40年未満)	墜落、 転落	フォークリフト	大型バスの窓枠を修繕するため、フォークリフトでパレットを高さ2m20cmまで上げ、その上に乗って作業を行った。作業終了後、他の労働者に命じて、フォークリフトを後退させたところ、パレットから墜落した。
13	二戸	建設業 (鉄骨・鉄筋コンクリート造 家屋建築工事業)	6月	月	男	60歳代 (1年以上 10年未満)	墜落、 転落	はしご等	2階建て建築物の解体工事において、脚立に上がり1階天井の筋交いを取り外し脚立をおりる際、脚立から転落した。
14	二戸	建設業 (機械器具設置工事業)	7月	金	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	激突	ボイラー	ボイラーの定期点検中、蒸気ドラム(直径1.6m、長さ7.2m)内の状況を確認するため、マンホール(直径38cm)を開放したところ、ドラム内部に吸い込まれ、ドラム内壁に激突した。
15	花巻	商業 (自動車小売業)	8月	日	男	20歳代 (1年以上 10年未満)	高温・低温の 物との接触	高温・低温環境	屋外の展示場における洗車・清掃等の作業中に頭痛を発症し、帰宅後、就寝したが、死亡した状態で翌朝発見され、死因は熱中症とされたもの。
16	花巻	農林業 (農業)	9月	金	男	70歳代 (10年以上 20年未満)	墜落、 転落	はしご等	個人宅の庭木の剪定作業中、三脚脚立(長さ298cm)を枝に立てかけ作業を行っていたところ、枝が折れて玄関入り口のコンクリートに転落した。
17	宮古	建設業 (トンネル建設工事業)	10月	木	男	30歳代 (20年以上 30年未満)	崩壊、 倒壊	荷姿の物	隣接するずい道を閉塞するため、坑口に木製型枠を組み立て、大型土嚢(5段)を置き、大型土嚢上でずい道内部にコンクリートを流し込む作業をしていたところ、土嚢が崩壊し、墜落、崩れた土嚢の下敷きとなった。
18	花巻	製造業 (鋳物業)	11月	水	男	40歳代 (1年以上 10年未満)	崩壊、 倒壊	クレーン	金棒(3.0m×3.8m、重さ:5~7t)を天井クレーンを使用して台車上に積み込む作業において、金棒を4段(2.46m)積み上げたところで崩れ、当該金棒と脇に積んでいた小型の金棒との間に挟まれた。

【表3】

平成28年死亡災害発生状況（事故の型別等）

平成28年12月31日現在

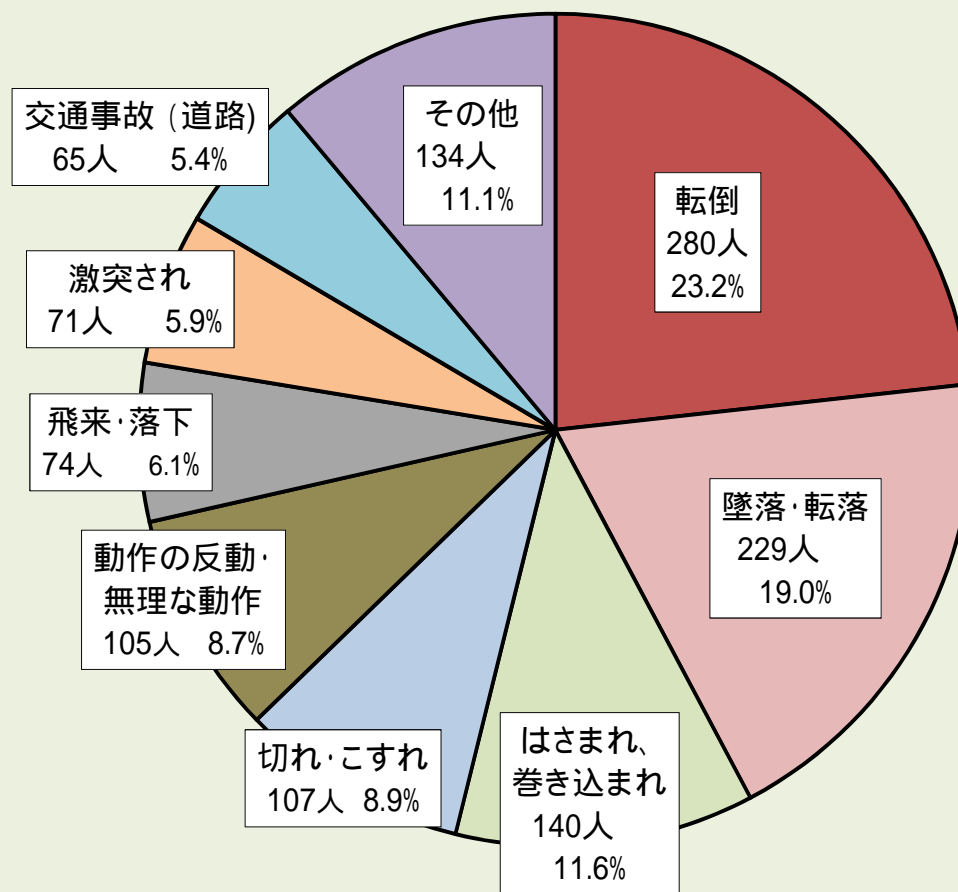
業種別	製造業 3人 (2人)	鉱業 0人 (0人)	建設業 7人 (7人)	運輸業 1人 (2人)	農林業 4人 (3人)	商業 2人 (1人)	左記以外 1人 (4人)	18人 (前年同期19人)
	盛岡 1人 (4人)	宮古 1人 (2人)	釜石 2人 (2人)	花巻 5人 (5人)	一関 1人 (2人)	大船渡 2人 (1人)	二戸 6人 (3人)	
	墜落・転落 5人 (3人)	転倒 0人 (1人)	飛来・落下 1人 (1人)	崩壊・倒壊 2人 (3人)	激突され 2人 (1人)	はさまれ・巻き込まれ 3人 (3人)	切れ・こすれ 0人 (0人)	
事故の型別	破裂 1人 (0人)	高温の物との接触 1人 (1人)	激突 1人 (0人)	感電 0人 (0人)	有害物等との接触 0人 (1人)	交通事故 1人 (3人)	その他 1人 (2人)	

注：（ ）内は前年同期

【グラフ1】

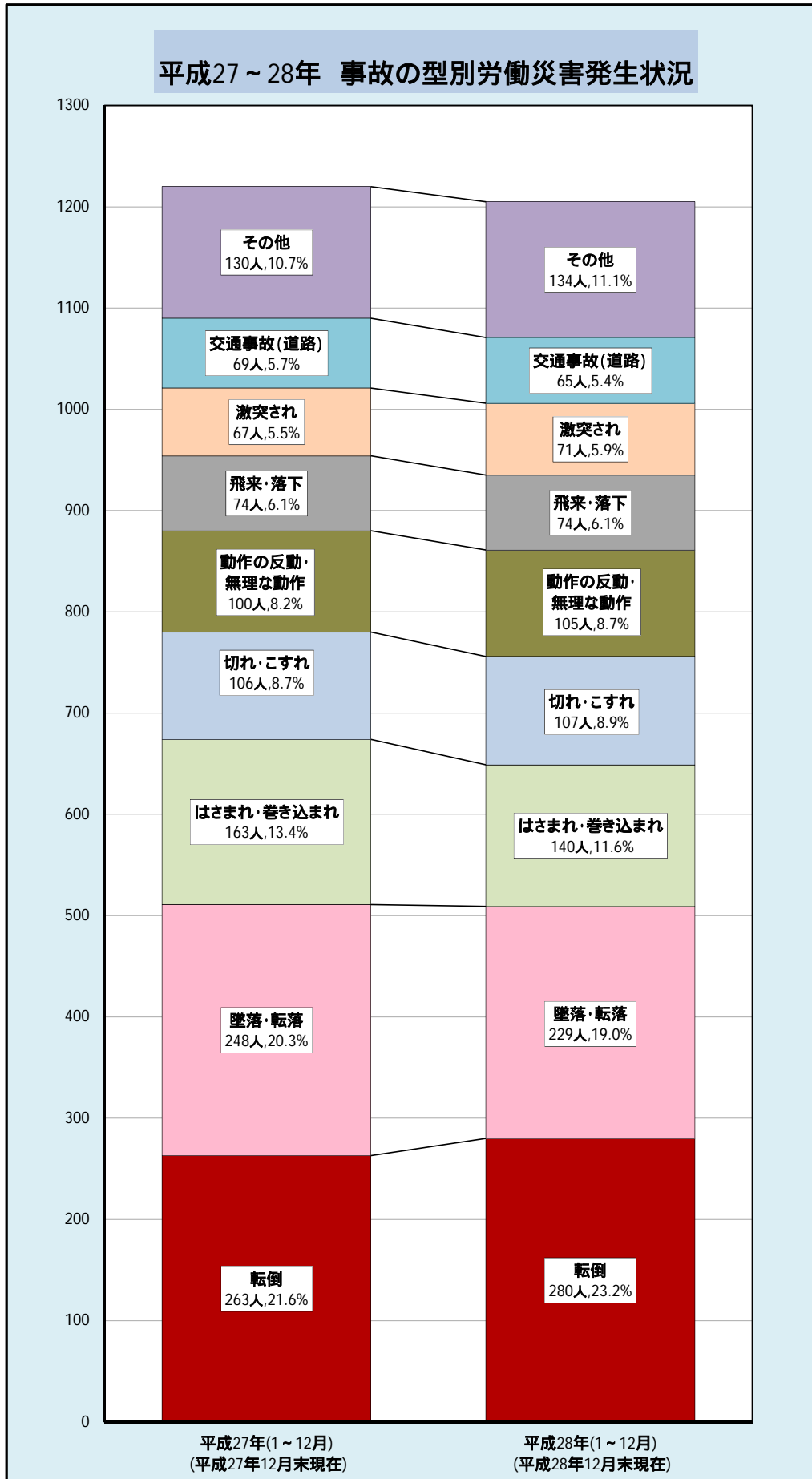
平成28年（1～12）月 労働災害発生状況（事故の型別）

岩手労働局



平成28年12月末の速報値である。

数字は死亡者数(内数)である。



【参考】

平成28年 月別労働災害発生状況 (休業4日以上 の 死傷者数)

平成28年 (平成28年12月末統計)

岩手労働局

業 種	当年 累計	前年 同期	対前年同期		月 別 発 生 状 況												
			増減数	増減率	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
製 造 業	食料品	22	30	-8	-26.7%	3	1	2	1	3	2	2		3	2	2	1
	水産食料品																
	上記以外の食料品	76	98	-22	-22.4%	7	6	10	7	3	5	7	9	6	4	10	2
	繊維・衣服その他繊維製品	13	8	5	62.5%	1	1			1	1	3	2		2	2	
	木材・木製品、家具・装備品	30	40	-10	-25.0%	5	1	2	2	2		3	2	3	4	4	2
	パルプ・紙、印刷・製本	2	4	-2	-50.0%			1									1
	化学工業	21	13	8	61.5%	3	1		3	2		3		2	3	4	
	窯業土石	15	13	2	15.4%	1	2	1		1		1	4	2	3		
	鉄鋼業、非鉄金属	9	5	4	80.0%				1		1	1	2	2		2	
	金属製品	31	23	8	34.8%	7	4	3	1	2	2	1	4	1	4	1	1
	一般機械器具	7	12	-5	-41.7%	1		1	1	1	2						1
	電気機械器具	7	15	-8	-53.3%	2			1	1	1					1	1
輸送用機械製造	12	5	7	140.0%		3	2	2	1			2		1		1	
電気・ガス																	
その他の製造	11	20	-9	-45.0%	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	
小 計	256	286	-30	-10.5%	31	20	23	21	18	15	24	24	21	23	28	8	
鉱 業	7	7	0	0.0%	1	2				1	1		1	1			
建 設 業	土木工事	77	85	-8	-9.4%	11	7	5	7	10	7	5	4	4	6	6	5
	建築 工事	鉄骨・鉄筋家屋	29	23	6	26.1%	2	2	2	1		2	6	4	4	3	3
		木造家屋	87	58	29	50.0%	8	6	11	6	6	7	11	6	8	5	12
		その他の建築工事	30	57	-27	-47.4%		1	2	2	3	4	6	4	4	2	1
	その他の建設	31	30	1	3.3%	3	4	2	5	1	2	4	4	3	4	3	
小 計	254	253	1	0.4%	24	20	22	21	20	22	32	18	23	20	22	10	
運 輸 交 通 業	114	133	-19	-14.3%	13	5	10	9	9	11	13	10	11	10	9	4	
道路貨物運送業																	
その他の運輸交通業	9	15	-6	-40.0%	1	1	2			1				1		3	
貨物取扱		2	-2	-100.0%													
農 林 業	農業	16	3	13	433.3%			3	2	1	1	2	1	2		1	3
	林業	57	53	4	7.5%		7	6	5	8	3	4	3	3	7	9	2
畜 産 水 産 業	畜産業	27	35	-8	-22.9%		3	4	2	4	3	1	2		4	1	3
	水産業	12	18	-6	-33.3%	2		1		2		1	1	4		1	
商 業	小売業	124	107	17	15.9%	21	13	15	12	5	10	9	15	6	9	8	1
	その他の商業	41	28	13	46.4%	4	2	1	7	5	4	6	6	1	1	3	1
通 信 業	14	24	-10	-41.7%	1	4	3	1	1				3		1		
保 健 衛 生 業	社会福祉施設	79	60	19	31.7%	10	9	3	8	5	6	10	10	6	7	2	3
	その他の保健衛生業	17	23	-6	-26.1%	7	3				1	3		2	1		
接 客 娯 楽 業	旅館業	22	16	6	37.5%	4	2	3		3		2	1	1	3	1	2
	飲食店	29	30	-1	-3.3%	2	2	4		5	1	4	3	3	4	1	
	その他の接客娯楽業	19	21	-2	-9.5%	2	3	2	2	1	2	3	1	1	2		
そ の 他	ビルメンテナンス業	22	30	-8	-26.7%	3		1	3	3	2	4	2	2	2		
	その他(上記以外の全ての業種)	86	76	10	13.2%	12	9	5	6	10	2	5	4	7	9	10	7
合 計	1,205	1,220	-15	-1.2%	138	105	108	99	100	85	121	103	95	103	101	47	

(注) 労働者死傷病報告による休業4日以上 の 統計である。 内は死亡者数(内数)である。